

## 情報関係基礎

問 2 次の文章(a・b)の空欄 **ケ** ~ **サ** に入れるのに最も適当なものを、後の解答群のうちから一つずつ選べ。

学習指導要領 (1) - 知・技 - イ

学習指導要領 (4) - 知・技 - ア

学習内容 (1) - イ 法・情報セキュリティ・情報モラル

学習内容 (4) - ア ネットワークの仕組みと構成要素

a 著作者の権利には、公表権が含まれている。公表権とは、まだ公表されていない著作物を公衆に提供または提示する権利であり、言い換えれば、著作者の意に反して自らの著作物が公表されることのない権利と言える。これをふまえると、 **ケ** は、著作者の権利のうち公表権を侵害する可能性がある。

**ケ** の解答群

- ④ 友人がこっそりノートに描きためていたイラストをのぞき見して、その感想を無断で SNS に書き込んでしまうこと
- ① 友人がこっそりノートに描きためていたイラストを、無断で SNS に公開してしまうこと
- ② イラストを描いているときの友人の顔を写真に撮り、無断で SNS に公開してしまうこと
- ③ 友人が秘密にしていたのに、友人の趣味がイラストを描くことであることを無断で SNS に書き込んでしまうこと

## 情報関係基礎

- b 情報通信ネットワークの通信方式に関して、回線交換方式とパケット交換方式を比較する。回線交換方式は、従来の固定電話でも用いられていた通信方式で、通信する2点間で接続を確立し、送受信するデータの有無にかかわらず、回線を占有する。一方、パケット交換方式は、インターネットなどで使用されている通信方式で、データをパケットと呼ばれる小さな単位に分割して、一つの回線に異なる宛先のパケットが混在してもよい形で通信を行う。は回線交換方式のメリット、はパケット交換方式のメリットと言える。

・の解答群

- ① 安全な通信ができる仕組みであるため、暗号化が不要であること
- ② 通信中は回線を占有できるため、時間あたりに通信できるデータ量が安定すること
- ③ 距離にかかわらず、遅延の少ない通信ができること
- ④ 回線を効率的に利用して、回線数より多くのユーザが同時に通信できること
- ⑤ 必ず接続が確立できること